
日本数理科学協会会報

38 / 2005 . 3

編集委員 藤井正俊 (委員長)/ 藤井淳一

目次

- | | |
|-------------------------|--|
| * 新会則、新会名に関する投票結果の報告 | * 数理科学協会 2005 年年会 |
| * 新会則 | * 交換誌関係報告 |
| * 新会則実施の日程 | * IVMS Bon Jour 3/23, IVMS, 2006, 2007 |
| * 役員 (Officers) 立候補者の募集 | * 新会員名簿の作成について |
| * 数理科学の新しい波、新しい plaza | |

新会則、新会名に関する投票結果の報告

事務局

先に会員各位に御願っていました新会名、新会則についての投票結果をご報告し、新会則に基づく協会運営の実施日程について連絡致します。

投票結果の報告

投票総数 56 票

1. Bylaws 賛成 55 票 反対 1 票
2. 会名 (1)International Society for Mathematical Sciences:ISMS 42 票
(2)Society for Mathematical Sciences:SfMS 13 票
(3) 会名なし 1 票

以上の結果、新会名は International Society for Mathematical Sciences, Bylaws は原案通り成立しました。

3. Bylaws に従った運営のための諸手続きを終了し、2005 年 7 月 1 日から新会名による事業運営を始めます。

4. 会名も同じく 2005 年 7 月 1 日から使用します。ただし、新会名は、事前に海外 Editor45 名に会名変更についての advice を求めた所、現在の Japanese Association of Mathematical Sciences の名前が消えると新しい学術団体として受け取られる可能性があるとの指摘がありました。

International Society for Mathematical Sciences も Japanese Association of Mathematical Sciences と全く同じ学術団体であり、この継続である事を明にして、ISMS 名が定着するまで一定期間 International Society for Mathematical Sciences (The Continium of Japanese Association of Mathematical Sciences)、ISMS(The Continium of JAMS) 等の会名を使用します。

国際数理科学協会 (数理科学協会) 会則

・第1条 (名称)

本会は、国際数理科学協会 (International Society for Mathematical Sciences : ISMS) と称する。

・第2条 (所在地)

本会は事務局を本会理事会の指定した場所に置く。

・第3条 (目的)

本会は数理科学の研究、普及を促進し、研究者間の国際交流を盛んにし、数理科学の進歩発展に貢献することを目的とする。

・第4条 (事業)

本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1) 研究論文集 *Scientiae Mathematicae Japonicae* その他学術的資料の発行 2) 学術的会合 (年会、IVMS、研究集会) の開催

3) 運営会議 (Business Meeting) の開催

4) その他本会の目的を達成するための事業

・第5条 (会員の種別)

本会の会員は次の各号に該当し、所定の手続きを完了した者とする。

1) 個人会員

1) - (1) 正会員 数理科学またはこれと関連する学術の知識を有する者

1) - (2) 学生会員 上記の領域に関連する大学、大学院、これに準ずる学校の学生

1) - (3) 名誉会員 本会の対象とする領域において特に功績があり、理事会の推薦を得た者

2) 機関会員 本会の目的に積極的に賛同する公的機関及び法人

3) 賛助会員 本会の事業を後援する個人、法人または団体

・第6条 (会費及び会員の特典)

1) 個人会員の会費は執行役員会に於いてこれを定める。

2) 個人会員の特典は (1) 電子版 SCMJ 誌の無料購読

(2) 印刷版 SCMJ 誌の購読費の大幅割引 (3) 論文組版費の割引

・第7条 (退会)

次の会員は退会したものとする。

1) 退会届を出した者

2) 会費を滞納した者

3) 本会の名誉を著しく傷つけた者

・第8条 (役員)

本会には次の役員をおく。

執行役員 (officers)

(1) 会長

(2) 前期会長または次期予定会長

- (3) 次の3人の執行委員 (1) SCMJ 編集担当, (2) 研究集会担当,
(3) 会員事務 (機関、個人、賛助) 担当

(4) 出納官

会計及び監査役員会 (Board of Trustees)

1. 構成

出納官 1 名、監査官 1 名、会計委員 1 名、前期会計委員 1 名

2. 担当 (function)

学会の財産を管理し、毎会計年度の予算を作成し、会計報告を行う。

監査役及び会計委員は執行役員会が推薦し、会員の信任投票により決定する。

理事 (Council)

1. 構成

(1) 執行役員 6 名、海外役員 8 名、(2) 国内役員 4 名

2. 担当 (function)

(1) 予算、決算、事業の審議、(2) 執行役員会への advice

理事は執行役員会が推薦し、会員の信任投票により決定する。

・第 9 条 (執行役員選挙及び任期)

(1) 次期予定会長及び前期会長の任期は 1 年半、会長の任期は 3 年、3 名の執行委員の任期は 3 年

(2) 次期会長、執行委員、出納官は会員の投票により決定する。

・第 10 条 (IVMS)

1) International Video Conferences of Mathematical Sciences (IVMS) は会員の要請に応じて、年間随時開くことができる。

会員は、IVMS を organize し、また参加する事が出来る。

2) IVMS は阪大中ノ島センターの Videoconference System を通じて行われる。

IVMS を開きたい会員は、SfMS の事務局に連絡して下さい。事務局は System に必要な予約手続きをとります。

・第 11 条 (年会)

1) IVMS 使用の年会は 5 月 1 日から 7 月 31 日の間に行われる。

2) 集合型年会は 7 月 1 日から 10 月 15 日の間に行われる。

・第 12 条 (経営会議 (Business Meeting))

1) 毎年経営会議が、IVMS 年会または集合型年会の際に、行われなくてはならない。

2) 経営会議の議事予定は、執行委員会により決定され、全会員に知らされねばならない。

経営会議の成立には、全会員の 2 % 以上の (e-mail での委任状、遠隔参加を含む) 出席を必要とし、出席者の過半数を以って議事を決する。

・第 13 条 (会則の変更)

この会則は、会員の (委任状、遠隔出席者を含む) 経営会議出席者の 2/3 以上の賛成がなければ変更は出来ない。

・附則

本会則は 2004 年までの旧会則から、2005 年新会則にうつる為の特別な取扱いを許容出来る。

新会則実施の日程

事務局

2月10日(木)	新会則についての意見締め切り
2月16日(水)	新会則案(英文及び日本文)公示、e-mail、(無い人には郵送)で文書を送る。 投票は次のいずれかの返信による。1.email、2.Fax、3. 郵送
2月28日(月)	投票締め切り
3月10日(木)	Vol.61-No.2 出来上がり、同号の Notices に新会名、新会則の可否投票の結果を掲載し、会員に発送。 新会則成立の際は、WWW & email で(新会則公示、新会則に基づく役員5名の立候補募集)
3月21日(月)	候補受付締め切り
3月23日(木)	中ノ島 Center で会議。候補者状況の報告
3月30日(水)	立候補者意見原稿締め切り
3月31日(木)	WWW, email, 郵送等で候補者意見発表
4月2日(土)	Officers 投票開始
4月20日(水)	Officers 投票締め切り
4月23日(土)	Officers 投票結果公表、WWW 及び Vol. 61, No. 3 原稿に記載、印刷屋渡し
5月9日(月)	Vol.61, No.3 納品 5月10日(火) 発送 Board of trustees 2名、Council 12名の依頼と信任投票の開始
5月30日(月)	信任投票締め切り
6月11日(土)	Board of Trustees, Council の List を掲載した SCMJ Vol.61 No.3 原稿の印刷屋渡し
7月1日(金)	新会則発効、新役員発足
7月9日(土)	Vol.62-No.1 発送

役員 (Officers) 立候補者の募集

事務局

新会則に基づく協会の運営を開始する為に officers5名(president 1名, secretaries3名,treasure1名)の候補者を募集します(任期はいずれも2005年7月1日から2007年12月31日)。

候補を希望される会員は事務局宛に御申し出てください。候補者は会則に従って担当の業務の実施指針を会員に示して、会員の投票を受けることとなります。候補受け付け及び実施指針提出の〆切は3月30日です。

数理科学の新しい波、新しい plaza の立ち上げ

SCMJ 編集部 石原忠重

数理科学は 21 世紀に入り様相を一変している。アメリカ/カナダでは 2000 年 8 月に新しい数理科学を目指す IPMA(下記) が UCLA Campus 内に設立されたが、その後米国研究費の元締め National Science Foundation (NSF) の数理科学部門 (Division of Mathematical Sciences) 直轄の研究所が続々と設立されて 2004 年末には次のようになっている。

ARCC : American Institute of Mathematics Research Conference Center

BIRS : Banff International Research Station for Mathematical Innovation and discovery

IAS : Institute for Advanced Studies, School of Mathematical

IPAM : Institute for Pure and Applied Mathematics

IMA : Institute for Mathematics and its Applications

MBI : Mathematical Biosciences Institute

MSRI : Mathematical Sciences Research Institute

NCAR : National Center for Atmospheric Research

SAMSI : Statistical and Applied Mathematical Sciences Institute

この中の MBI は Biosciences の研究所であり、NCAR は台風や竜巻、ハリケーン等の大気の運動を扱い、又、SAMSI は統計学、確率過程、等の (医学、薬学、経済学、経営学等々) 広い範囲の応用を含む研究所である。又、IPAM、IMA、MSRI 等々の研究所では「新しい数理科学」が年間プロジェクトとして実行されている。

例えば、この 20 年間微分方程式や関数解析などで優れた研究を行ってきた IMA (Minnesota) では 2005 年 9 月 1 日から 2006 年 6 月 30 日を「Imaging」(画像処理) の Thematic year として次のように徹底した hard work seminar を行っています。

年間 project は次の 2 期に分かれますが

Fall Semester September - December, 2005:	Sensor to Images
Spring Semester January - June, 2006:	Images to Understanding

詳細な日程は次のようになってます。

9/19 - 23/05 Tutorial: Rader and Optical Imaging

10/17 - 21/05 Workshop : Imaging from Wave Propagation

11/7 - 11/05 Workshop : Frontiers in Imaging

12/5 - 9/05 Workshop : Integration of Sensing and Propagation

1/9 - 12/06 Workshop : New Mathematics and Algorithms for 3D Image Analysis

2/6 - 10/06 Workshop : The Mathematics and Art of film Editing and Restoration

3/6 - 10/06 Workshop : Natural Images

4/3 - 7/06 Workshop : Shape Images

5/14 - 18/06 SIAM Meeting : Imaging Sciences 2006, Radisson Metrodome

5/22 - 26/06 Workshop : Visual Learning and Recognition

ところで日本ではどうなのか？残念ながらこのような研究 project が年間 project として取り上げられている話をほとんど聞かない。横幹連合が日本の科学の将来について学術団体の研究連合を企劃していることは違見であり、救いであるが、そのための研究所を設立する様なことは連合にとってはとても無理であり、政府の support も期待できない。

日本の数理科学の遅れを取り戻すために多少とも役立つ JAMS の仕事として

1. SCMJ 誌の今までの International plaza に加えて、「新しい数理科学」の Survey article をのせる欄、仮称”Nuovo Scientiae Mathematicae”欄を作り、それぞれの専門家による Suvey Article の出版を 2006 年位から始めたく、執筆者の紹介等会員各位の御協力を御願ひする次第です。

2. 新しい数理科学のいろいろな分野を tema とする研究学会の開催を推進する。

JAMS が小さいながら以上のような事業を通じて、一定の社会的貢献を果たせる事を期待したい。

数理科学協会 2005 年 年会

年会実行委員長 稲垣宣生

数理科学協会 (2005) 年会が次の日程で開かれます。

場所：〒 560-8531 大阪府豊中市待兼山町 1-3 大阪大学基礎工学部 <<国際棟 ホール>>

日時：2005 年 9 月 5 日 (月) ~ 8 日 (木)

そのときの研究部会開催の呼びかけを行っています。

研究部会を開催されます方は

次の項目

(1) 責任者 (世話人) :

(2) 研究部会名 :

(3) 開催予定日時 :

(4) 参加予定人数 :

(5) 連絡先および e-mail :

を記入されまして、下記までお知らせ下さい。

〒 560-8531 大阪府豊中市待兼山町 1-3 大阪大学基礎工学部 稲垣 宣生

e-mail: inagaki@sigmath.es.osaka-u.ac.jp tel: 06-6850-6465,

または 06-6850-6490 fax: 06-6850-6496

現在のところ 2 部会の申し込みです。よろしくお願ひいたします。

交換誌関係報告

交換誌担当 堤陽

各大学学科の交換誌担当の先生方のご協力の下でしております、「交換誌事務の新しいシステムへの変更」状況を報告致します。

1. 当方からの要請に、徐々に交換誌誌が送られてきています。3 月 10 日頃に到着分の発送を致します。

2. 今後、交換が途絶えているものが判明しましたら、継続を要請します。

3. この作業を通して、交換の実態を把握して、永年チェックされていなかった 交換誌資料をより良いものにします。

4. ご意見ご要望は pbls5@jams.jp までお寄せ下さい。

IVMS Bon Jour 3/23, IVMS 2006, 2007 プログラム

Connection Test “Bon jour” on March 23, 2005

We will have connection tests named “Bon jour” on March 23, 2005 at Nakanoshima Center of Osaka University for the future distance symposium (videoconference) in 2006 and 2007. We are negotiating with the following research groups with the following schedule (Japan time).

- 8:30 - 12:00 Functional Analysis research groups in Midwest, West Coast of U.S.A. and/or Canada
- 13:00 - 16:30 BCK, BCI research groups in Korea & P.R. China
- 17:00 - 21:30 (1) Game Theory research groups in Wroclaw, Poland and Karelia, Russia
(2) Biomathematics research group in Napoli
(3) Real Analysis research group in Palermo
(4) Partial Differential Equation research group in Bologna

If you are interested in the test and wish to join us (Nakanoshima Center and the above research groups), please contact us at pgp6j@jams.jp.

Deadlines for 2006 IVMS (May 23, 2006)

- For organizers: Aug. 31, 2005 For consideration of contributed papers for special sessions
- (1) For titles: Sept. 30, 2005
 - (2) For abstracts: Oct. 31, 2005
 - (3) For full texts: April 28, 2006
 - (4) For participation: May 16, 2006

Deadlines for 2007 IVMS (May 22 ~ 23, 2007)

- For organizers: July 31, 2006 For consideration of contributed papers for special sessions
- (1) For titles: Sept. 30, 2006
 - (2) For abstracts: Oct. 31, 2006
 - (3) For full texts: April 28, 2007
 - (4) For participation: May 16, 2007

新会員名簿の作成について

現在作成しております 2005 年 3 月時点での会員名簿のデータを 3 月末までにお送り致します。

2005 年 4 月 1 日付けでの各位のデータと異なっている場合は、4 月 10 日までにご連絡を頂きます様、よろしくお願い致します。

JAMS 会員募集

JAMS の出版物： JAMS は、創刊より半世紀、国際的に高い評価を得ている *Mathematica Japonica* (M.J.) と、その姉妹誌で電子 *Journal* と *Paper* 誌とを持つ *Scientiae Mathematicae* (SCM) とを発行してきました。両誌は、合併して”21 世紀 MJ/SCM New Series ”*Scientiae Mathematicae Japonicae*(SCMJ) として、電子版は 2000 年 9 月より、印刷版は 2001 年 1 月より、年間 6 冊、1200 頁の出版しています。

- 1) Editorial Board には国内だけでなく、海外の著名な研究者 40 名が参加している。
- 2) 世界の research group に論文が紹介され、積極的な交流が推進されている。
- 3) Editor を窓口として直接論文を投稿できて、迅速な referee、及び出版が得られる。
- 4) 世界各国の図書館へ広く配布されている。
- 5) 有名な数理科学者の original paper や、研究に役立つ survey が毎号載せられている。
- 6) M.J. は世界の有名数理科学者による、極めて興味ある expository paper を毎号 International Plaza 欄に掲載している。
- 7) 投稿論文は accept 後 (又は組版後) 待時間 0 で発行されます。JAMS の研究会: 研究仲間が、ゆっくり時間をかけて、発表、討論をする特色ある研究会を毎年行われ非会員も含む多数の参加者の、活発な研究交流の場となっている。又、JAMS 学術賞、清水賞の賞講演等、最近の研究 frontier の presentation が行われている。

JAMS の会員の特典

1. SCMJ 電子版の購読 (print out も含む) 無料, 2. SCMJ print 版の少額での (下表 1) 購読, 3. page charge の discount (下表 2)

表 1

	単年度会員	3 年会員	著者会員	機関購読会員	定価
Paper	¥6,000 US\$60 € 48	¥5,000 US\$50 € 40	¥6000 US\$60 € 48	¥33,000 US\$300 € 240	¥45,000 US\$400 € 320
Online	Free	Free	*¥6,000 *US\$60 € 48	/	/
Online +Paper	¥6,000 US\$ 60 € 48	¥5,000 US\$ 50 € 40	¥9,000 US\$90 € 72	¥45,000 US\$420 € 336	¥57,000 US\$520 € 416

表 2

	Member	Non Member
Paper : P	¥3800 (US\$35 € 28)	¥4500 (US\$43 € 35)
T _E X: T	¥2200 (US\$18 € 14)	¥2800 (US\$26 € 21)
Js : Js	¥1100 (US\$8 € 7)	¥1650 (US\$16 € 14)

2005 年の会費は次のようになります。

表 3

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度 A 会員	¥7,000	US\$50 € 40	US\$30 € 24
3 年 A 会員	¥18,000	US\$120 € 96	US\$70 € 56
単年度 S 会員	¥3,500	US\$30 € 24	US\$20 € 18
3 年 S 会員	¥9,000	US\$70 € 56	US\$50 € 40
生涯会員	¥70,000	US\$600 € 480	US\$500 € 400

但し A 会員は正会員をさし、S 会員は学生会員と高齢会員 (70 才以上) をさします。

日本数理学協会

Japanese Associations of Mathematical Science

〒590-0075 堺市南花田口町 2-1-18 新堺東ビル内

Tel(0722)22-1850 / Fax(0722)22-7987

e-mail: member@jams.or.jp URL <http://www.jams.or.jp>